

「ぼ～れば～れ」通巻 431 号所載

周りに助けを求めよう

三郷の小さなつどい 2016 年 5 月 14 日（土）13：30～

三郷文化会館 参加者 27 名

クリニックふれあい早稲田の大場先生と、みさと協立病院の矢花先生が参加されました。大場先生から、「徘徊」とは「目的もなく、歩きまわること」ですが、認知症の方は、目的があって、出歩く場合が多いので、それを分かって適切に対処することが重要と話されました。

M さんから、最近新しい施設に通いはじめて、料理をやらせてもらうのを楽しみにしている、私か傍で言うとやらないと話され、Y さんから、「拭いて」ではだめで、お皿と布巾をおいておくと拭いてくれる、動作で分かってもらうとよいとアドバイスがありました。

I さんから、妻が同じことを繰り返すので、困るけれど、病気では仕方がないと納得している。料理は一品しかできない。買い物も同じものを毎日買ってきてしまう。デイサービスなどに行っても、まわりに迷惑をかけるんじゃないか心配ですと話されました。

T さんも奥さんを見ていますが、ご自身が大病を患ったりし

て、体力がなく、とても大変と話されました。まわりの人達から、口ぐちに、介護サービスを受けて、ご自身の体を休めないとやっていけないですよとアドバイスがありました。

介護者は病気にならないように、まわりに助けを求めないといけないとみんなで確認しあいました。